

「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

ありば

VOL. 42
2021



表紙／星空と山の畑 鮫島 輝希 (さめしま こうき) さんの作品

昨年開催された第26回全国特別支援学校文化祭において、造形・美術部門の文部科学大臣賞を受賞した鹿児島県立牧之原養護学校に通う鮫島輝希さん(17歳)。鉛筆とボールペンを用いて遠近感や光と影が上手に表現されています。今回の受賞作品について「湖や山脈が良く観られる景観の小さな村を描きました。」とのこと。これまでも多くの賞を受賞している鮫島さんは、経験を積み重ね大きな絵を緻密に描いていくことを目標に掲げ、「様々な場所を訪ね、その風景のある場所を思い描いていけるようになるまで、一つ一つ丁寧な線を集中して描き、大きな絵の中に表現し、作品を作り上げていきたい。」と話してくれました。



CONTENTS

【特集】

ヘルプマークを知っていますか？

～あなたの支援が必要です～

PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント

尾塚 愛実さん

PAGE 3

ありば通信

肝付町社協「パラスポおおすみ」

PAGE 4

ハードルを越えて

西田 和矢さん

PAGE 5

バリアフリー最前線

加治屋まちの杜公園

鹿児島県身障者用駐車場利用証制度

PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ

- ・アルコール関連問題啓発週間
- ・自殺に係わる相談窓口の案内
- ・かごしま県民手話言語条例
手話講座・手話出前講座

PAGE 7

